

# 旭川医大病院ニュース

題字は吉岡前病院長  
 (編集)  
 旭川医科大学医学部附属  
 病院広報誌編集委員会  
 委員長  
 八竹教授(泌尿器科)

## 退官にあたって

学長 田島 久

前庭を賑わしたツツジの花盛りも過ぎて木々の若葉が初夏を思わせるこの六月末をもって、四年間の任期を終えさせて戴くことになりました。在任中の鮫島附属病院長を始めとする皆様の御支援に改めて厚くお礼申し上げます。



附属病院は、この四年の間に三つの診療科で科長の交替があり、輸血部が出来、画期的な医療情報システムの稼働を見るなど、幾つもの目立った変化がありました。

一方、訪れる患者さんへの心遣いは、外来診療日の増加や診療券受け箱制を経て機械による自動予約制への移行、あるいは喫煙室の設置等にうかがわれますが、これらは表に現れたほんの一例に過ぎず、その背景にはそれぞれの部署における日常的な見直しや工夫の数々があり、それらを基にして実現した成果の一部であることは言うまでもありません。

医科大学が地域社会の人々に直接開く門戸である附属病院には、刻々と変わり行く社会の要請を先取りして応える姿勢が望まれますが、こと医療に関しては、この社会の要請は、年々高度化、複雑化の一途を辿り、これを受けて今年の日本医学会総会も「転換期に立つ医学と医療」をテーマに掲げて行われました。一方我が国は、コメの輸入問題に見ら

れるように、今や国際社会からの要請にも遅滞なく応えなければならぬ立場にあり、その身近な現れが週四〇時間勤務体制への移行であります。定員削減にも匹敵するこの変革を乗り切る工夫は並み大抵のものでありません。地域社会と国際社会双方からの要請にどう対応して行くかは、極めて困難な課題ではあります。創設以来十五年にわたって積み上げて来た本院の英知を結集して当る他はないと考えます。故人となられた石井兼典名誉教授は、御退官にあたってこの病院ニュースの第二四号に「開院当時のような熱気と努力が不断にあることが最も大切なこと」と述懐を残して居られます。

附属病院の存在意義が医学教育にあることは、改めて口にするまでもない事ですが、ここで展開される先進医療はもとより、医療陣と地域社会との日常的な取り組みの姿が、将来の日本の医療を担う医学生や研修医の教育にそのま、繋がる

晴上がったすばらしい空、一面の新緑、タンポポの黄色が一段と色彩を増し、チューリップの赤、そして紫色のつつじ、その中心に白い大きな医大の建物がそびえ立っている五月の季節、北海道の一番すばらしい季節だそうです。

赴任の時は、大雪の山々、十勝の山々が、白くかがやいて、これまたほこらしげに医大を見おろしていた。まだ二ヶ月をすこし過ぎただけで、まだ右も左もわ

## 旭川医大に赴任して

総務部長 菅 谷 正 吾

からぬまま、仕事に追われている毎日です。幸い、私も、東京を出でて十年になりますが、医学部附属病院のある大学を経験させていただきました。

国立大学の医学部附属病院は、教育、研究を基本とし、日本医学の先端を行き



ことを、全ての職域の方々の誇りとして戴きたいと思えます。外から波及して来た変革の要請を契機として、現在院内にみなぎっている熱気が、本学附属病院に新たな発展をもたらす日の遠くないことを折念して、お別れの言葉と致します。

また、私は、自分の趣味「剣道」を通じて、今まで赴任先で経験したことと同じように、その土地の方々と親しく交流し、経験を豊かにし、自分を成長させたいと思っています。仕事に、趣味に、……に、よろしくお願いいたします。

残雪が消え、四月の定期人事異動が始まる。新任地への期待と不安をいだきながら、旭川駅に降り立ち眺める買物公園からビル街は、明るく活気溢れる街並である。……赴任最初の印象です。



日々神楽岡から観る大雪山系の残雪と田園風景はこ

## 就任にあたって

兼務部長 星野 良

中心的立場にあり、常に、医学の進歩を先どりし、リードし地域医療の指導的役割を持っています。そのためにも、やはり、私も医大に職するものが、常々、出来ごとに注視し、理解し、病院の運営に一早く、生かして行くことだと思えます。そのためには、先生方、技師の方々、看護婦さん、そして私も事務官が協力しあわねばならないと思えます。

残雪が消え、四月の定期人事異動が始まる。新任地への期待と不安をいだきながら、旭川駅に降り立ち眺める買物公園からビル街は、明るく活気溢れる街並である。……赴任最初の印象です。

日々神楽岡から観る大雪山系の残雪と田園風景はこ

れ又見事な調和を成し、異国情緒を漂わせる風景は誠に抜群である。北海道の代表的な、雄大な景色である。暫らくの間、周辺のすばらしい自然環境に親しみたいと思っております。

さて、近年大学病院をとりまく諸情勢は誠に厳しいものがあり、平成三年度においては、適切な収入増を図ること、予算の執行については、なお一層の節減合理化と経費の効率的執行等々、経営的観点の導入と徹底した業務の見直しを、強く求められております。

このような状況から、大学病院の使命である教育と研究に支障ないよう、どう具体的に対処していくか、当面の大きな課題であると思えます。一方従来からの未解決の諸問題も多々あると思えます。

このような大事な時期にあたり、円滑な病院運営が出来るよう、皆様の積極的な御意見と御協力をいただきながら、各部門の皆様とともに一丸となつてこの大波を乗り切らなければならぬと思ひます。

皆様の御指導と御協力により職責を全うするよう一生懸命頑張りたいと思ひますので、どうぞよろしく、お願い申し上げます。

\* \* \* \* \*

### 素直な気持ち

第一内科 野村智昭

波瀾に富んだこの数ヶ月を、御覧になつていらっしゃる方々へ今そつと打ち明けましょう。

まず第一に「国家試験」といつが何よりもデリケートな私の心を毎夜甚振つたのでした。既に講義はないのですが、この空白な時間

が何とも落ち着かないもので机へ向つてはボーッとす

つのが関の山、友人への電話が多くなり通話料が急増したの言うまでもありません。ちなみにセブインレ

ブンのお弁当代も激増しました。(不安と恐怖に怯えながらも季節の歩

みは確実に旭川にも遅い春が到来し、ついに試験当日となつたのです。試験中はどうだったか。)

ですつて？それは私も知りたいくらいで今でも頭の中が殆ど空白状態なのです。

それから月日は流れ当第一内科への初出勤の日、それまで友人と連日酒盛をし彼らより数日早い出勤となつていたので、「ひと足お

## Fresh Voice

先に医者になつて待つてゐたのですが、第二の悲劇が私の前に立ち開つたのでした。他科へ入局した同窓生は皆胸元に白いネームを付け誇らしげなのですが、何を隠そう当科では発表まで御預けだったので。しかし合格後にネームを付けた



時の嬉しさは格別で、トイシで人知れず涙したということは未だに知られていない事実です。私は元来何事にも感動してしまう性格で、「変なヤツだな。」とよく言われてきました。が、実際に働くようになってからは思つていません。ある時は指示簿に書いてない叱られ、ある時はカンファレンスルームで冷汗をかく、またある時は点滴が上手に入り満足感に浸

る。医者としてもすれば疲れだけが先行しがちな多忙な生活の中で、この様な素直な感覚を持ち続けたい。医療が進歩し業務内容も細分化された現在、それぞれの医療分野での連携や情報交換の実現に際し独自の方法があるのちよつとしたフイーリングが初心を思い

「ひゃー。まっこてさんか。」(本当に寒いね)三月三十一日初めて南国鹿児島を離れ北国旭川を訪れた。見渡すかぎりの広い原野はただ真つ白い雪ばかり。私たち鹿児島おごじよ(娘)三人組は、場違いにも春物のスーツを着て旭川空港に立つていた。

「ちよつち。げんなかね(少しはずかしいね)」と話していると目の前に、笑顔で新井副部長が迎え出てくれた。内心ほつとした。今日は、土曜日というので看宿には入れず別の宿へとタクシーを走らせた。宿の裏一面も真つ白く思わず、「わつぱいかね。まっこち。こげん雪はみたことなが。ちよつち、雪ん上ば歩いてみつが。」(ものすごいね。本当に、こんな雪はみたこ

起こすエッセンスとなれば幸いと思つています。皆様、ハードな毎日ですがこれからも続きますが、私も第一内科の医師として旭川医大の一員として日々奮闘していく所存です。未熟者では御座いますが、今後とも宜しく願ひ致します。最後に……第一内科はとも楽しい医局です。

「ひゃー。ひつたまがつたが。北海道は、バスやトイレにまで暖房いれちよつち。まっこち、ぜいたくやつがねえ。」(びつくりしたよ。北海道の人はバス・トイレにまで暖房を入れているよ。本当にぜいたくだね。)氷点下の世界を知らない私たちは、北海道はぜいたくなところだと思つた。かわらない屋根、真つすぐな道路……。まるで異国に來てしまつた気分だった。その時から、すでに私たちの北海道物語は始まつていた。そんなこんなから、旭川に來て、早二ヶ月がたとうとすると、少しずつではあるが、北国の常識というもののがわかつてきたように思う。しかし、休日を利用しての観光先では、やはり北海道の美と雄大さにただ感動しまくり、そして、北海道に來て良かったと感じる時でもある。心はどんどん豊かになる反面、ふところはどんどんさびしくなる今日のごろである。



# 若葉マーク

専任 木千恵

黄色と緑の若葉マーク。その若葉マークをあしらったすこし大きめのネームプレートをこの二ヶ月間、私はしていました。そのネームには『この四月からの新人です。御迷惑をおかけしますが、よろしくお願います。』と書かれています。そしてまったくその通りに過ぎていった四月、五月の二ヶ月間でした。

私は新人であるということに、少々甘えすぎていたところがありました。そのため、自分で出来るかぎりの努力をするというあたりまえの努力を怠っていたように思われます。

この六月から私も白いネームをつけるようになりますが、まだまだ勉強が必要な部分が多く、患者さんへの対応の仕方もまだごちなさが隠せずにいる今日



このごろです。なにより自分の動揺を敏感に感じ取る患者さん、患者さんとの関係がうまくいかなかった場合もありました。ただでさえ病気やけがを負い気分が不安定なところに、こちらの不器用な対応を受けたら、余計なストレスなどをためる原因にもなるでしょう。治療のために来院してくる患者さんに対して自分の出来るかぎりのベストをつくせたいとは思いますが、まだまだあせりが先に立ってしまい結果として十分な対応が出来ない事の方が多くなりがちです。

今のところ大きな事件もなく、毎日怒濤のように流れて行きます。ただ毎日すこしずつ進んでいくだけではなく、一つ一つをきちんと自分の中で考えて、理解していくことが大切であり、そのために、日々、勉強することが大切なのだと思っています。実行してゆこうと努力するようにになりました。やはり日々の小さな積み重ねが、一年後、二年後の自分の種になつてゆくのだと思えます。話が半分それてしまいま

この六月から私も白いネームをつけるようになりますが、まだまだ勉強が必要な部分が多く、患者さんへの対応の仕方もまだごちなさが隠せずにいる今日

# 職員卓球同好会

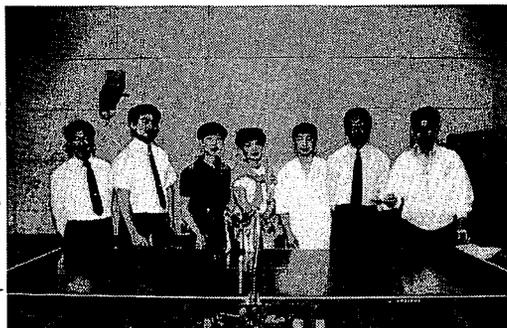
十七年をピークに部員数は減少の一途をたどり、現在では八名となり、さらには唯一みんなど出場できる大会であった共済組合の体育大会から卓球の種目が抜け、いつのまにか職員卓球大会からも卓球の名前が消えてしまいました。しかし、真に卓球を愛するメンバーが

職員卓球同好会は、開学間もない頃から昼休みに卓球をしていた人達が中心となつて誕生しました。始めは初心者の人が多く、当時唯一出場していた旭川地区共済組合の体育大会においても、いまいちの成績でしたが、開院に伴い職員数が急増し学校のクラブ等での経験者も加わり、技術的にもレベルが上がり共済の大会でも目の覚めるような活躍をするメンバーも出てくるようになりました。一時は部員数(但し名簿上)も三十人近くまでふくれあがりました。(そのうち半数以上が女性という、今思えば夢のような時代でした)その後、昭和五十六・五

十七年をピークに部員数は減少の一途をたどり、現在では八名となり、さらには唯一みんなど出場できる大会であった共済組合の体育大会から卓球の種目が抜け、いつのまにか職員卓球大会からも卓球の名前が消えてしまいました。しかし、真に卓球を愛するメンバーが

中心となつて旭川地区の各種大会に出場し、中でも市内における最大規模の大会である、加盟団体の大会(一部四〜五チームで、ランキング上位順に一部〜十五部まである)に数人のメンバーが出場し、堂々四部にランクされるなど、人数が多

一口に『卓球』といつても、昔教室内で机を合わせ、黒板消をネットがわりに俄卓球台をつくり『ピンポン』という長閑な響きをさせながら、遊びに興じていた人から、学校のクラブで本格的にスポーツとしてテニスに取



かつたときよりむしろ活発に活動しています。但し週一回の練習には、メンバーを見る・教官・看護婦・看護助手・調理員・講座の技官・事務職員と職種により時間帯が様々であり、なかなか全員が一同に集まることができないのが実情であり、今後の課題でもあります。そんななかで唯一メンバー全員の顔が揃うのは年一回の北大との定期戦です。回を重ねて本年度で七回目を迎えます。当初は交流試合中心で、けっこう勝ち負けにこだわっていましたが、お互いメンバーの顔ぶれが固定化してくるにつれ、同窓会的雰囲気になり、交互の当番制にして、最近では、勇駒別・定山溪・層雲峡(因に今年には朝里川を予定しています)と観光の要素が新たに加わり、我同好会最大の行事となりこれだけを楽しみに卓球をしているというメンバーもいるほどです。

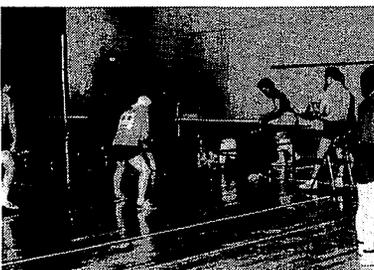
一口に『卓球』といつても、昔教室内で机を合わせ、黒板消をネットがわりに俄卓球台をつくり『ピンポン』という長閑な響きをさせながら、遊びに興じていた人から、学校のクラブで本格的にスポーツとしてテニスに取

一口に『卓球』といつても、昔教室内で机を合わせ、黒板消をネットがわりに俄卓球台をつくり『ピンポン』という長閑な響きをさせながら、遊びに興じていた人から、学校のクラブで本格的にスポーツとしてテニスに取

一口に『卓球』といつても、昔教室内で机を合わせ、黒板消をネットがわりに俄卓球台をつくり『ピンポン』という長閑な響きをさせながら、遊びに興じていた人から、学校のクラブで本格的にスポーツとしてテニスに取



組んだ人まで、様々だと思いますが、誰でも気軽に手軽に入っていけるのが『卓球』であると思います。『ピンポン』派の方も『テニス』派の方も毎週水曜日後五時三十分から体育館の奥で練習していますので、是非お越し下さい。最後に、今後共卓球同好会を暖かく見守って下さいますよう、紙面をかりてお願い申し上げます。(卓球同好会幹事 加藤政昭)



【薬剤部】

新薬紹介(20)

硫酸アルベカシン

(ハベカシン注射液)

院内感染の実態が一般紙にも取り上げられ、社会的問題となつております。この背景には、まず Compromised Host といわれる患者側の要因があります。すなわち、医療の進歩により従来は生存できなかった患者の延命が可能となつた半面、これらの患者は免疫能が低下している場合があり、感染しやすい状態が考えられます。もう一方で、抗菌薬の使用量の増加に伴つて、耐性菌が増加して来たことも大きな要因としてあげられます。特に MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌) は現在、院内感染の原因として最も注目されている細菌であります。

MRSA は、ブドウ球菌に対し抗菌力の弱い第三世代セフェム系抗生物質を汎用した結果出現した、新しい多剤耐性黄色ブドウ球菌で、セフェム系以外のアミノ配糖体系、旧型テトラサイクリン系、マクロライド系にも高い耐性を持つております。MRSA 感染症の治療は、先に示したように多くの薬剤の感受性が乏しいことから、宿主側の悪条件も加わつて、なかなか難しい現状にあります。中でも深部感染症の場合には注意が必要であります。皮膚化膿症や中耳炎などでは、患者の免疫状態が正常で、深部感染症に移行しなければ危険は少ないといわれております。しかしいづれにしても、ブドウ球菌は本来強毒菌であり、感染による危険が大ききく、重症感染症を防ぐためにも早期発見、対応が必要となります。

こうした MRSA に対する抗菌力が評価されたのが本剤であり、その臨床的意義は大きいと思われす。アルベカシン (ABK) は梅澤濱夫博士らが細菌の抗生物質に対する不活性化機構の究明により合成したジベカシン (DKB) の一位のアミノ基に (S)-4-アミノ-2-ヒドロキシブチリル基を導入したアミノ配糖体系抗生物質で、この側鎖導入が構造上の特徴となつております。このことにより、黄色ブドウ球菌由来の不活性化酵素のいづれに対しても、他のアミノ配糖体系抗生物質に比べて極めて安定となつております。さらに MRSA に対して優れた抗菌力を有することが認められ、その作用は殺菌的であります。その抗菌力はアミノ配糖体系抗生物質中最も優れ、ミノサイクリン、イミペネム・シラスタチン、セフトナムなどと比べても ABK の抗菌力が優つております。

また、一般毒性は DKB と同等かやや弱く、聴覚器毒性は DKB、アミカシン (AMK) より弱いことが知られております。薬物動態における特徴としては、血清中濃度は用量に依存して高く認められ、長時間維持し、組織内移行は良好で、代謝されることなく、尿より主に排泄され、血清蛋白との結合は少ないことなどがあげられます。臨床成績は、MRSA 感染症による敗血症 3 例中 2 例 (76%)、肺炎 8 例中 7 例 (85%) に有効であり、MRSA の消失率は各々 66.7%、57.1% で臨床効果、細菌学的効果共に優れた成績を示しております。このように症例数は少ないものの重篤な感染症である MRSA 感染症に有効であり、かつ治療上の必要性が高いことから承認時の審議の過程において希用医薬品 (オーフアンドラッグ) に準じて取り扱われております。こうした取り扱いにより、厚生省は、使用にあたり全症例について報告することを義務づけております。一般的に「耐性菌に対し

て有効」という場合、「耐性菌を含むその菌種に有効」という意味を指すと考えられます。しかし、本剤はブドウ球菌に対する有効性のデータはなく、その効能・効果は「MRSA のうち本剤感受性菌による敗血症及び肺炎」で、使用範囲が限定されたものになっております。従つて黄色ブドウ球菌に感染しているからといって安易に本剤を使用すると新たな耐性菌を生むことにもつながりますから、投与にあつては MRSA を確認し、本剤に対する感受性を測定し、慎重な使用が求められます。

以上、本剤は通常の抗生物質に対する耐性を備えてしまつた MRSA に対して効果が認められた我国初の薬剤であります。(薬品情報室長 藤田 育志)

はアミノ配糖体系抗生物質中最も優れ、ミノサイクリン、イミペネム・シラスタチン、セフトナムなどと比べても ABK の抗菌力が優つております。また、一般毒性は DKB と同等かやや弱く、聴覚器毒性は DKB、アミカシン (AMK) より弱いことが知られております。薬物動態における特徴としては、血清中濃度は用量に依存して高く認められ、長時間維持し、組織内移行は良好で、代謝されることなく、尿より主に排泄され、血清蛋白との結合は少ないことなどがあげられます。臨床成績は、MRSA 感染症による敗血症 3 例中 2 例 (76%)、肺炎 8 例中 7 例 (85%) に有効であり、MRSA の消失率は各々 66.7%、57.1% で臨床効果、細菌学的効果共に優れた成績を示しております。このように症例数は少ないものの重篤な感染症である MRSA 感染症に有効であり、かつ治療上の必要性が高いことから承認時の審議の過程において希用医薬品 (オーフアンドラッグ) に準じて取り扱われております。こうした取り扱いにより、厚生省は、使用にあたり全症例について報告することを義務づけております。一般的に「耐性菌に対し

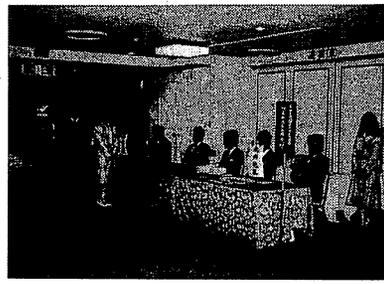
て有効」という場合、「耐性菌を含むその菌種に有効」という意味を指すと考えられます。しかし、本剤はブドウ球菌に対する有効性のデータはなく、その効能・効果は「MRSA のうち本剤感受性菌による敗血症及び肺炎」で、使用範囲が限定されたものになっております。従つて黄色ブドウ球菌に感染しているからといって安易に本剤を使用すると新たな耐性菌を生むことにもつながりますから、投与にあつては MRSA を確認し、本剤に対する感受性を測定し、慎重な使用が求められます。

以上、本剤は通常の抗生物質に対する耐性を備えてしまつた MRSA に対して効果が認められた我国初の薬剤であります。(薬品情報室長 藤田 育志)

以上、本剤は通常の抗生物質に対する耐性を備えてしまつた MRSA に対して効果が認められた我国初の薬剤であります。(薬品情報室長 藤田 育志)



第四十五回国立大学医学部附属病院長会議が六月六日(六)・七日(日)の両日、本院の当番で開催されました。



受付

この会議には、東大・京大など四十九大学の病院長らが出席したほか、文部省からは草原原医学教育課長、廣瀬会計課第三予算班主査など四名が出席され、主に次の議題について協議されました。

- 一、大病院における教育・研修機能充実に ついて
- 二、救急医療体制の整備 充実に ついて
- 三、看護婦雇用対策につ いて
- 四、第八次定員削減に伴 うコ・メディカル職 員の適用除外につい て

五、週四十時間勤務制試 行終了後の取扱いに ついて

このほか、各部門会議等 からも次の事項が提案され ました。

- ▽中央検査部会議①教官、 技官の増員について②非常 勤技師の三年雇用について
- ③新設医科大学への講座、 中央診療施設等の設置につ いて④検査部の整備につい て⑤週四十時間勤務制移行 への対応について
- ▽手術部協議会①臨床工 学部(クリニカルエンジニアリ ング)の新設、臨床 工学技士の定員化について
- ②手術部の基準面積・設置 基準の改善について③手術 部の看護職員、技術職員の 定員増について④手術部職 員の待遇改善について⑤手 術部における緊急災害対策 のための予算措置について
- ⑥手術部専任教授職及び教 育、研究の体系化について
- ▽放射線診療部門会議① 診療放射線技師の定員増に ついて②医療機器更新費の 増額について③画像情報の 中央管理について④放射線 部専任看護婦の増員につい て
- ▽輸血部会議①国立大学



附属病院における輸血部新設の促進について②輸血部職員増員について

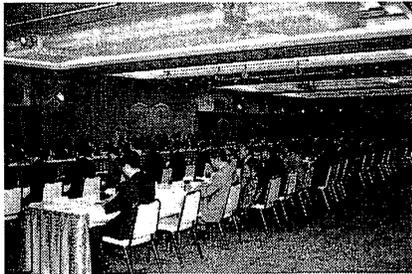
▽集中治療部協議会①臨床工学技士の定員化と集中治療部への配置について②看護婦の定員増について③集中治療部近代化予算について④教官の定員増について⑤集中治療部の設置について

▽救急部協議会①救急部の診療組織としての整備、拡充並びに救急医学講座の新設整備について②救急部の設置拡充・整備(病床の設置を含む)、近代化予算の配備について③救急部職員の充実、特に医師、看護婦、医療技術職員の増員、臨床工学技士の配置について④救急部職員の待遇改善について⑤救急用ヘリポートの設置について

▽医療情報処理部門連絡会議①医療情報部(病歴部) 草原医学教育課長挨拶

▽看護部部長会議①看護婦等の定員増について②看護婦宿舎の改善について③夜間看護手当の増額について④医療職俸給表(三)の改善及び5級、4級の定数増について

▽材料部協議会①材料部の組織の充実を図るため、専任教官・技官並びに看護助手の配置について②材料



門を含む)の設置及び整備について②大学病院間ネットワーク(UMIN)の活用について③医療情報の利用とセキュリティについて

▽薬剤部協議会①薬剤部職員(薬剤師)の増員について②薬剤部職員(薬剤師)の級別定数の改善について③薬剤部における当直手当の改善について④薬剤師(医療職)職員を教育職に準ずる待遇とすることについて

▽人工腎臓部門①血液浄化(人工腎臓)部門の整備及び新設について②臨床工学技士の定員配置について

▽栄養主任者会議①国立大学病院栄養部(仮称)の設置について②国立大学病院栄養管理室の設置拡大について③臨床管理栄養士制度(仮称)に対応した卒後研修の受け入れについて

▽腎疾患治療部門①血液

部業務を一部外部委託するための予算化について

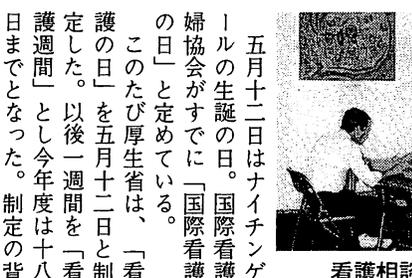
▽病理部連絡会議①国立大学病院病理部の新設と拡充、剖検及び細胞診部門の整備並びに感染症用剖検室の設置について

▽高気圧治療部門①臨床工学技士制度への対応促進について



親親会

五月十二日はナイチンゲールの生誕の日。国際看護婦協会がすでに「国際看護の日」と定めている。このたび厚生省は、「看護の日」を五月十二日と制定した。以後一週間を「看護週間」とし今年度は十八日までとなった。制定の背景には、看護の心、ケアの心をひろく国民の女も男も等しく分かち合い、特に二十一世紀の高齢化社会を担っていく子供達にもその心をはぐくんでいきたい、ということとそれにも増して大切なことは看護や介護に携わる人が大切にされ、生き甲斐に満ちて働ける社会に、という強い願いから発するものです。当日の毎日



シンボルマークの鮮やかなワッペンを胸に、襟に、袖口に、その人らしくステキに工夫した白衣姿が院内を潤歩した。

新聞には「ナイチンゲールは献身の人であっただけではなく、近代看護の基礎を固めた。その知性に学ぶべき日でもある」とあります。院内の行事は看護部の総務委員会が担当する事になった。早速、幕にはサブテーマの「看護の心をみんなの心に」と染めた。季節も風薫る五月、看護部にも爽やかな春がきます様にどピシク地に拘るも、染屋さんの不可能の一言で断念。紺地に白字の清々しくも、凛々しい幕が玄関ホールにかけられた。

パネル展は働く姿、旅行患者さんとのレクリエーションを中心に、行動力、吸収力のある看護婦像を目指した。以前に教育大附属中の生徒が一日体験ナースをした時に、そのつぶらな瞳で「看護婦さんは病院と家を行ったり来たりで、何が楽しみですか」という質問を受け以来頭から離れない事もあった。写真マニアの患者さんのTさんが、看護



新聞には「ナイチンゲールは献身の人であっただけではなく、近代看護の基礎を固めた。その知性に学ぶべき日でもある」とあります。院内の行事は看護部の総務委員会が担当する事になった。早速、幕にはサブテーマの「看護の心をみんなの心に」と染めた。季節も風薫る五月、看護部にも爽やかな春がきます様にどピシク地に拘るも、染屋さんの不可能の一言で断念。紺地に白字の清々しくも、凛々しい幕が玄関ホールにかけられた。

5月12日は「看護の日」

看護の心と みんなの心に

旭川医大病院 看護部

昼食に添えられた 食事

婦達の働く姿をこれでもかこれでもかと見せられると思っただけで、さりげなく多面的な写真展で良いとの感想。ちよつと一息のつもりで飾った「ひまわり」の写真が一番良いとの声もあった。その他、看護紹介のビデオ上映、看護相談には三日間で二十二件の相談に、ヴェテランナースが応じた。毎月十二日に相談コーナーを開いて欲しい、という希望もあつたとか。手作りのちびまる子のポスターに魅入る子供達。十二日の昼食時にはサブテーマ印刷の食膳カード(ピンク)を添えた。そつとノートにはさむ患者さん。カードと共に「看護の力に感謝の心、元気になるぞ」なる新句を作り各病室に配って歩く患者さんもいた。私達にとってはささやかな明るい出番でした。

関係部門の方々、各NSの御協力ありがとうございました。今後も看護職全員で積極的に楽しんで上げます。お祭りごとせず、実りある記念日にするべきだと感じた一週間でした。(看護部長 山田久美子)

私たちは患者さんと言う「お客さん」に毎日接している。誰も自分自身の家に来られた「お客さん」には丁寧な、大切に應對してゐる。当然、患者さんにも丁寧に対応しなければならぬ。しかし、患者さんにも丁寧に対応しなければならぬ。しかし、患者さんにも丁寧に対応しなければならぬ。

私たちにとっては病院は毎日働く場であるので、特別この建物に威圧感もなにも感じていない。病院内の事にはもう慣れっこになっている。それで来院される患者さんと同じなのだといふ誤解してしまふ。

しかし不安定な心理状態にあるこの人達はほんの些細な事に傷ついたり、病院全体に不快感を抱くようになる。その些細な事の一つに患者さんへの呼びかけ方があるように思う。私たちは年齢の方に何の悪気もなく、かえって親しみを込めて「おじいちゃん」「おばあちゃん」と呼びかける事がある。私も新米の頃、うかつに「おじいちゃん・・」と話しかけて、「あなたは私の孫ではない」と患者さんから強い口調でしかられた。その頃はなぜしかられたのか、良く理解してなかった。しかし自分自身があと数年内に公私ともに十分「おじいちゃん」と呼び

かけられても不思議でない年齢になって、最近ではその患者さんの気持ちが良く分かる気がする。そういう患者さんの心理を上手に表現された文章をここで紹介したいと思う。

それは昭和六十二年十一月三日(火曜日)の北海道新聞の「いずみ」というコラムの「どうぞ、御願い」という題の小柳喜重子さんと言う七十歳の方の文章である。きつと読まれた方も多と思うが、ここに転載させていただきます。

「沢村貞子さんのエッセイを読んで、全く同感だ」と分かっていても、身内以外の人に「おばあちゃん」などと呼ばれると、内心ざわつとするからおかしい。どうぞ、自分の祖母以外の人を「おばあさん」と呼ばないで下さい。」

七、八年前の事が思い出された。夫がけがをして入院した時、看護婦さんが「おじいさん、おじいさん」と呼ぶのが気になっていた。ある日、名札を指さして「名前を呼んで下さい」と言ったら、妙な顔して返事しなかった。夫は「おれは気にしていない」と言っていたが、私、その翌年、今度は私が転んで頭を打ち、意識不明のまま救急車で運ばれたのが同じ病院だった。

私が入った病室はベッドがたくさんあり、老女の方が多かった。私はおばあさんと呼ばれるのを観念していた。

退院間近のある日、看護婦さんたちがベッドを移動して、だれかがどこかをぶつけたのか「あつ痛つ」と声をあげた。退屈していた私「あら、看護婦さんでも痛い事あるんですか」と言ったら「わーん、小柳さんがいじめたあ」と言った。断然この看護婦さんが大好きになったのは言うまでもない。

私も七十になり完全な老女と分かっていても、身内以外の人に「おばあちゃん」などと呼ばれると、内心ざわつとするからおかしい。どうぞ、自分の祖母以外の人を「おばあさん」と呼ばないで下さい。」

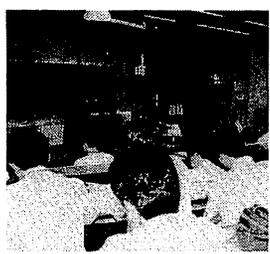
このような心境の方は多いにちがいない。つい気安く、「おじいさん」「おばあさん」と呼びそうになるとこの文章を思い出して反省している。(泌尿器科長 八竹 直)



本オリエンテーションは、新たに本院に採用予定の医師(研修医)及び新入大学の大学院学生(臨床系)等に対して、本院の組織及び業務システムの周知徹底を図るとともに、医療事故防止保険診療等についての基礎的知識を付与し、診療業務の適正な運営と円滑化を図ることを目的に実施しているものです。

今年度は、受講対象者である医師国家試験合格者で医師(研修医)に採用予定者の五十三名のうち五十二名と今年度入学の大学院学生(臨床系)十三名(他に研究生二名)の計六十七名が出席し、五月二十日(月)本学臨床第三講議室において開催されました。

実施内容は、午前中は各中央診療施設等の「診療マニュアル」の説明を行い、午後からは、学内外からの講師による「院内感染対策について」(第三内科関谷



千葉弁護士 講義

千尋講師)、「医療情報システムについて」(医療情報室長牧野幹男教授)、「医療事故と医師賠償保険について」(本学附属病院顧問弁護士千葉健夫氏)及び「保険診療について」(日本医師会社会保険診療報酬検討委員会委員小池昭氏)等の講義が行われ無事終了しました。

受講者に対するアンケートの結果では、総体的に「有意義であった。」との回答を得ておりますが、今年度の実施結果を踏まえて、来年度の実施計画を検討して行きたいと考えています。なお、本オリエンテーションの実施に当たりご協力いただきました関係各位に厚くお礼申し上げます。

平成三年度 『病院ニュース』 編集委員

昭和五十六年に第一版が発行された診療マニュアルは、昭和六十二年に第四版が発行され今日に至っておりますが、このたび、診療マニュアル編集委員会により、オーダリングシステム関係の項目を加えるなどの改訂を行った第五版が発行され、各診療科・部等へ配付しましたのでご利用ください。(庶務課)

次号から、オーダリングシステムに關しての現場の意見を掲載する予定です。普段使用して不便に思っていること、疑問点など、どんなことでもよろしいですから、一、〇〇〇字以内にとめて八月末日までに庶務課調査係まで意見をお寄せください。

なお、お寄せいただいた意見に対しては、可能な限り医療情報室からの回答も予定しておりますのでご期待ください。

- 委員長 八竹教授 (泌尿器科)
- 委員 松本助手 (第一内科)
- 筒井講師 (皮膚科)
- 松田助手 (歯科口腔外科)
- 信岡技師長 (検査部)
- 藤田薬品情報室長 (薬剤部)
- 新井副看護部長 (看護部)
- 木下課長補佐 (庶務課)
- 歸山課長補佐 (医事課)